

# すずらん

NO. 27

発行日：2008年3月21日  
発行元：社会福祉法人すずらんの会  
理事長 大長 義信  
相模原市麻溝台7-1-7  
TEL 042-749-8881  
<http://www.suzuran.or.jp>  
kouhou@suzuran.or.jp



◆「すずらん」へのご意見・ご要望・ご感想などありましたら、ぜひ電話、メールを送ってください。



## 特集 自主製品を考える～自主製品のこれから～

広報誌24・25・26号で自主製品を授産活動として展開しているエリアからの報告が掲載されました。一様に一生懸命活動している結果が利用者の給与になかなか反映されない悩みや活動のやりがいについて述べられました。3号にわたる広報誌の発行の間にグリーンハウスでは利用者給与額の設定や安全衛生に関する意見交換ためにスワンベーカリー本体の社長さんの訪問を受け、さらに高い利用者給与を支払う努力と工夫が必要なことやパン製造作業が他の作業活動に良い影響を与えていていることも確認されました。また高い売り上げ実績や短時間でのパンの製造・販売を行っている



【写真】すずらんの会の自主製品一部

【上】クッキー（すずらんの家）

【中】ぼち袋（すずらんの家）

【下】スワンベーカリー（グリーンハウス）

【右】農園芸（グリーンハウス）

他施設2箇所を見学させていただきました。自分達の活動を振り返り、「一生懸命」を「結果」として出せる方法を探ったわけですが、少し見えてきたのは顧客ニーズを知る、市場調査の必要性です。お客様が必要としている商品、その商品が欲しい日、時間、場所、それらを知ることで活動の無駄をなくしてニーズに合わせた取り組みを行うことです。活動のやりがいが顧客ニーズに反しないよう振り返る必要があります。これはパン製造に限ったことではなく、農園芸やお菓子製造、工芸品つくりも同じです。これからは「自分達のやり方」に固執しない柔軟な考え方で目標値を目指して方法を工夫しようと話し合っています。活動現場は産みの苦しみでうなっていますが‥‥。

（グリーンハウス 滝井）



人職員に求められている。とりわけ、障害のある人達が仕事に就いて収入を得、社会的自立を目指すことへの支援は、法人設立以前から時代に先がけて取り組んできたテーマであり、制度的な追い風もあることから、来年度も引き続き力を入れて取り組んで行きたい。法人が手掛ける事業の更なるステップアップの為には、過去に囚われない斬新な発想や創意工夫と新しいことに挑戦する心意気が、法

十九年度の法人経営は何とか全体としてはマイナスにはならずに終わるものと思われる。ここ一、二年は制度変更に振り回されて来た感が強いが、制度を有効に活用できた面もあった。それ以上に、法人内各事業所が收支バランスを常に意識してムダを極力排除した運営に励んでくれた成果は大きいと思われる。福祉サービスを云々する以前に、サービス提供者である我々社会福祉法人の経営が立ち行かなくなるのではと言ふ危機感を共有する事が出来たと考へている。来年度以降も継続的にこの收支状況を堅持しながら、如何にして事業を発展させていくかに腐心する責務がある。新制度への対応も着実に進行中であり、その推移を良く見極めながら事業形態の更なる健全化と各事業所のサービス内容の点検、整備を継続的に行なっていく必要がある。我々自身が掲げている法人理念は、如何なる制度下に於いても普遍であり、これの実現に向けた努力は我々の最優先課題である。

新年度に向けて

理事長 大長 義信

## 新事業体系移行の振り返り

ワークショップ・フレンドでは、一般就労を目指すことを目標にしながら作業を通じて職業能力の可能性を引き出し社会や職場環境への適用及び調整を行なう場として活動してきました。今年度、法改正に伴い自立支援法下の新事業（就労支援事業、生活訓練事業）へ移行をし、利用されている皆さんに適切な支援をする事になりましたが、この1年間を振り返り運営面の課題や今後の方向性をお伝えします。

### 課題

- フレンドの利用開始から一般就労に至る平均的な所要期間は今までおよそ2年弱でしたが、利用者全体から見たら2年間で就労に結びつくのは全体の半数以下の人達でした。従って2年間の就労移行支援事業では、就労に結びつかない可能性があります。
- 最近は、養護学校卒業と同時に就労する人たちが増えていますが、フレンドのような訓練施設で就職前に一人ひとりにあった支援を受けることも必要と考えています。
- フレンドでは、訓練後就職した人たちが毎年着実に増加していますが、必要な職場定着支援が自立支援法の報酬対象外である為、施設の運営面及び就労した人が適切な支援を受けられない等、支障をきたしています。

### 今後の方向性

- 既存利用者の皆さんには、H21年度から就労継続B（利用期限4年間）を開始し、通算最長6年間の利用期間を確保していきます。
- これまでのフレンドの取り組みや実績を生かし多くの利用者の皆さんに利用して頂ける様に、支援面の強化や行政・企業・学校等に積極的にアプローチしていきます。
- H21年度以降、就労継続事業を開始に伴い収入減が想定される為、適切な職員配置等を実施していきます。

（ワークショップ・フレンド 角）

## グリーンハウスとグリーン分場 新法移行へ

平成20年4月からグリーンハウスは就労移行支援事業（定員54名）、生活介護事業（定員6名）の多機能型事業所へ移行します。就労移行支援事業はこれまでの授産活動（これからは就労支援活動と呼ぶそうです）を基盤に施設外作業や一般就労支援にも支援の幅を広げます。生活介護事業ではこれまでの作業活動を中心に据え、さらに創作活動や地域生活に必要な活動を加えてそれぞれの特性や特技を磨いていきます。

大和市にあるグリーンハウス分場は単体の就労移行支援事業所（定員20名）として独立し、名称も改め「ワークセンター やまと」となります。分場はこれまで施設外作業に力をいれてまいりましたが、4月からはさらに施設外作業に従事する利用者を増やし、フレンドの就労支援課や大和市障害者自立支援センターとの連携で一般就労支援に力を注ぎます。

保護者の皆様には、昨年秋の移行説明会に続き、年明けから支給申請の手続きや3月の契約更改をご協力いただくことが多々あり、深く感謝しております。移行準備に際して、自立支援法のわかりにくさに苦しんだのは私ども事業所だけではなく、保護者の皆様も同様であったと思われます。仕組みや用語のわかりにくさに加え、障害特性が反映されない障害程度区分判定等さらにこの制度を理解しにくいものにしていると思います。とりわけ生活介護事業では、「介護」という名称ゆえにその支援内容をご理解いただくことが困難でした。明らかに「介護」と「支援」は異なるものですから、わかりにくいのは当然です。

21年度の自立支援法見直しの際には適切な用語で事業名を表すことも要望していきたいと思います。職員一同、4月を目前に心を引き締め、襟を正して利用者と向き合っていく所存です。

（グリーンハウス 滝井）



## Cafeふらっと 1周年



“障害の有無にかかわらず、地域の人たちが交流を深められる場所”を作りたいと思い、オープンした自立支援センターのCafeふらっとは、もうすぐ開店して1年を迎えようとしています。

右も左も分からないままでオープンしたカフェですが、一杯一杯豆を挽いて、丁寧に入れたコーヒーが手ごろな値段で飲めることもあり、徐々にお客様も増えてきました。最初はお客様が来て下さるか不安でしたが、今では近隣の方（買い物帰りの主婦の方、赤ちゃん連れの若いお母さんグループ等々）の常連さんも増えてきています。お客様からは「コーヒーが美味しい」「明るくて雰囲気の良いお店ですね」等のお言葉を頂いています。

また、自立支援センターの訓練室を経て就労された方達がカフェにお茶を飲みに来て下さることも多く、就労者の方達にとっても和みの場所になっているようです。

これらの課題としては、より多くのお客様に来て頂けるようなお店の雰囲気作りと広報活動です。定期的なカフェライブの開催や、新メニュー・子供用メニューの導入等、新しい企画を予定しています。また、将来的には障害のある方達の就労の場に、と考えています。2年目を迎えるCafeふらっとは地域に根付いたコミュニティ・カフェを目指します。お近くにお越しの際には、ぜひ、お立ち寄りください。



Cafe Live Vol.1(2007.6)



Cafe ふらっとのご案内

月曜から土曜 11:00~16:30まで営業中

大和市鶴間1の19の3 大和市自立支援センター内

(小田急線鶴間駅より徒歩8分)

(大和市自立支援センター 宮野)

## 生まれ変わった“すずらんの家”をご紹介します！

平成20年1月1日より障害者地域活動センター「すずらんの家」と「タートル」が統合して、相模原市新磯野に移転し障害者自立支援法の多機能型事業所「すずらんの家」がスタートしました。県道村富線沿いのビルの1階フロアで就労継続B型事業の製菓班（旧すずらんの家）と生活介護事業の活動班（旧タートル）が活動を展開しています。旧タートルは、半地下の作業室から、ガラス張りの明るく広い作業室へ改善されました。又、旧すずらんの家は、手狭で安全性の確保に苦慮していましたが、安全で効率的な作業動線を考えた作業室へと生まれ変わりました。製菓班では、近隣の方々へすずらんの家の菓子のおいしい味を知っていただき、販路拡大を目指したいと張り切っています。カウンターにはクッキーを用意して皆様をお待ちしています。活動班では仕事（作業）だけではなく、例えば散歩、少人数での交通機関を使った外出、音楽など毎日が充実していて気が付いたら良い支援になっていたという生活メニューを目指して模索しています。どうぞ、すずらんの家にお気軽に立ち寄りください。

（すずらんの家 見元）



広くなった作業場



新しい建物の外観



12月からフレンドの就労支援担当

になりました。以前は高齢者・障害者の訪問介護の仕事に従事し、在宅生活者の支援を行ってきました。フレンドでは皆様が安心して仕事ができる環境作りをサポートし、仕事の面白さを実感する事ができる様お手伝いしていきたいと思います。皆様と共に地域社会へ歩める様に頑張っていきますのでよろしくお願い致します。

(就労支援担当 和賀行彦)

## 新任職員紹介

1月よりグリーンハウスで作業指導員として勤務する事になりました  
濱安厚行と申します。

どうぞよろしくお願ひ致します。  
利用者の皆様に喜んで頂けるよう努力致しますので、気軽に声をかけてください。

(グリーンハウス 濱安厚行)

相模原という未知の地で、新しいページに色をつけていく所存です。「心に添う」を原点に利用者が「生きる喜び」「生きている実感」「生きて行こう」というエネルギーが沸く様、特技の創作、絵画、ボイスカウト活動の経験等を生かし、サポートできたらと考えております。

(あいあいS 奥村銀子)

## 活動のひとコマ 地域作業所 花暖



花暖には現在9人の利用者が通所しています。法人の中で一番小さな施設で、地域とのつながり・人とのつながりを積極的に持つように心がけています。

仕事は作業所内での受注作業の他に、10年来、ショッパーを配っています。「こんにちは」「ありがとう」の声をかけてもらうと嬉しくなります。

他に地域交流としては、自治会防災訓練への参加やボランティアの皆さんとの調理実習があります。調理の後は、おいしく食し、楽しく語らいます。このような地域の方々とのふれあいもいい体験になります。昨年はお礼に「世界に一つだけの花」を手話を交えて披露しましたが、その練習では、みんながやる気を出して頑張りました。普段はモーツアルトの調べが流れる中、黙々と作業していますが、このように帰り際に少しだけみんなで歌うことを楽しんだりもしています。今度の合唱曲は…現在思案中です。

(花暖 池田)

～ご寄付をいただきました～

住友スリーエム労働組合 相模原支部様  
この場をお借りいたしまして、感謝申し上げます。

ありがとうございました。

## 広げよう職員のわっ!

(すずらんの家 見元)

いつもニコニコ笑顔で溌剌とした久保さんのご紹介。フレンドリーサービス（在宅障害児者家庭内作業所）で在宅の利用者支援をしています。太陽のような暖かさを添えての訪問は、社会参加へのきっかけの一歩になることでしょう。そして、職員の私たちにも元気の源となってくれること間違いないです！

## 編集後記

今年度は、福祉施設の特徴である自主製品に焦点を当てて特集を組み、今号がまとめとなりました。最近では、工賃倍増計画や社会就労のあり方等々言われていますが特集した自主製品との関係は深いと思います。是非、皆さんからのご意見を！！日頃の業務をしながらの広報作成でした。何とかできて一安心しています。（広報 河合・矢島）

## すずらんの会 通信講座

### 感覚統合障害 PART2

～前号に続いて感覚統合について～

#### 感覚統合障害へのアプローチ

①子どもへの理解—まず、子どもの状態を正しく理解する事からスタートです。「なぜ出来ないの？」という視点より、「大変なんだね」と共感することで、子どもはとても安定します。

②環境調整や支援—子どもが発達するのに適切な感覚情報を、あそびや支援を通じて得られるようにします。例えば聴覚の識別力を増やすために、「何の音かな？」と音あてをするなど、楽しみながら、受け取る情報の意味理解を促すようなあそびを取り入れます。情報の交通整理がうまくいかなかった時には「こわい」と怯えていた音も、楽しい遊びを通じて、意味が分かる動きが育ってくると負担が減り、環境に適応しやすくなります。

児童デイサービスセンターばれっとでの取り組み  
保護者の方々からのご要望があり、勉強会を開いて、感覚統合障害を持つお子さんへの理解を深めています。作業療法士の木村順先生を招いて4回コースの講座を実施しました。反響も大きく、ばれっとのご利用者以外の参加者も回を追うごとに増えました。ばれっとでは私たちスタッフもこのように視点を持ち、親御さんや支援者の方々がお子さんを理解するためのお手伝いをするとともに、お子さんが環境からのさまざまな刺激に振り回されることなく、必要な情報を取り入れて楽しく学んでゆけるよう支援を行っております。

(ばれっと 加藤)